

(参考抄訳)

AIGは、エアキャップ・ホールディングス・エヌヴィーに対する インターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーションの売却を完了

ニューヨーク、2014年5月14日ーアメリカン・インターナショナル・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所銘柄：AIG）（「AIG」）は、本日、AIGが、エアキャップ・ホールディングス・エヌヴィー（ニューヨーク証券取引所銘柄：AER）（「エアキャップ」）に対する、現金30億米ドルおよびエアキャップの新規発行普通株式97,560,976株を対価とするインターナショナル・リース・ファイナンス・コーポレーション（「ILFC」）における100パーセントの持分の売却を完了したことを発表しました。かかる対価の総額は、2014年5月13日のエアキャップの1株当たりの終値47.01米ドルベースで、約76億米ドルの価値を有します。AIGが受領したエアキャップ普通株式は、エアキャップにおける持分の約46%を占め、AIGとエアキャップとの間の株主間契約および登録届出権に関する契約に規定されるところに従って譲渡制限に服します。本取引は、AIGの非中核事業の最後の主要な売却となります。

AIGの社長兼CEOであるロバート・H・ベンモシエは、以下のように述べました。

「我々は、ILFCの売却を完了することができ、大変喜ばしく思っています。エアキャップは、航空機リース業界の世界的なリーダーであり、本取引が事業にとって強固なパートナーシップを構築し、継続的な市場の主導力を確立すると考えます。しかしながら、航空機リース事業は当社の保険事業の中核を担うものではないため、我々は、ILFCを売却することに合意しました。この売却は、AIGの流動性および信用情報にプラスの影響を及ぼし、当社が保険事業における堅調な成長および利益性に焦点を当て続けることを可能とするでしょう。」

ILFCの名前はなくなりますが、その長い歴史と財産はエアキャップに引き継がれることでしょう。また、特に、本取引を可能にしたILFCの全ての従業員に対し、そのリーダーシップと尽力について深く感謝します。」

AIGの正味現金収益は、インターカンパニー・ローンの決済後において約24億米ドルとなり、一般的な事業目的に使用することができます。本取引の発表からエアキャップの株価が上昇したことに基づき、AIGは、2014年第2四半期において、22億米ドルの税引前営業外利益を計上し、ひいては、1株当たりの帳簿価格について0.97米ドルの増加をもたらすことが予測されます。AIGは、エクイティ方式の会計処理に基づき、エアキャップに対する投資を評価する予定です。

本取引に関連して、AIGの最高財務担当役員であるデイビッド・L・ヘルツォグ氏およびベンモシェ氏がエアキャップの取締役となりました。

#

本プレスリリースには、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去の事実ではなく、将来の事象に関するAIGの見解のみを表しており、その多くは性質上、本質的に不確実なものでありAIGに制御可能な範疇を超えています。実際の結果は、これらの記述によって示唆される予想される結果と（場合によっては大きく）異なる可能性があります。実際の結果がかかる将来の見通しと（場合によっては大きく）異なる要因は、1934年証券取引所法に基づき、AIGが定期的に米国証券取引委員会に対して提出する書類に記載されます。

#